

2010年春(3月～5月)の東北地方の天候

- 記録的な寡照
- 低温、多雨
- 気温の変動が大きい

(1) 2010年春(3月～5月)の天候

この期間、本州付近を低気圧や前線が頻繁に通過したため、曇りや雨または雪の日が多くかった。1946年以降の春として3か月間日照時間の少ない方からの1位の値を更新した。また、南の暖かい空気が流れ込み気温が平年を大幅に上回った時期もあったが、3月下旬、4月中旬から下旬、5月中旬や下旬など北の寒気が流れ込み気温が平年を大幅に下回った時期があるなど、気温の変動が大きく、3か月平均気温は低くなかった。

3か月平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。3か月間降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。3か月間日照時間は東北地方でかなり少ない。

3月：この期間、日本海や本州南岸を低気圧が短い周期で通過することが多く、東北地方は月を通じて低気圧や前線の影響を受けやすかつたため、曇りや雨または雪の日が多くかった。このため、東北地方の月間日照時間はかなり少くなり、1946年以降の3月として月間日照時間の少ない方からの1位の値を更新した。また、東北日本海側では月降水量はかなり多くなった。9日から10日にかけては、低気圧が本州南岸を東進後、三陸沖を急速に発達しながら北東進した影響で東北太平洋側の沿岸部を中心に大雪となり、八戸では10日の降雪の深さの日合計が61cmとなり年の1位の値を更新した。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北地方でかなり少ない。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で68%と少なく、東北太平洋側で138%と多い。

4月：この期間、低気圧や前線の影響で、曇りや雨または雪の日が多くかった。1946年以降の4月として、東北地方の月間日照時間は少ない方からの1位の値を、東北南部の月降水量は多い方からの1位の値を更新した。また、前半は低気圧が短い周期で通過したため気温の日々の変動が大きくなり、後半は強い寒気が南下し気温が平年を大幅に下回った。

月平均気温は東北地方でかなり低い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。月間日照時間は東北地方でかなり少ない。

5月：上旬は高気圧におおわれ晴れの日が多くかったが、中旬から下旬は低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、月間日照時間は少なかった。気温の変動が大きく、上旬と中旬後半から下旬前半は、南よりの暖かい空気が流れ込んだため気温は平年を大きく上回ったが、中旬前半と下旬後半は、強い寒気が南下したため気温は平年を大きく下回った。11日から12日は日本海や日本の南岸を進んだ低気圧の影響で、また24日から25日は日本の南岸を進んだ低気圧の影響で、大雨となつた。

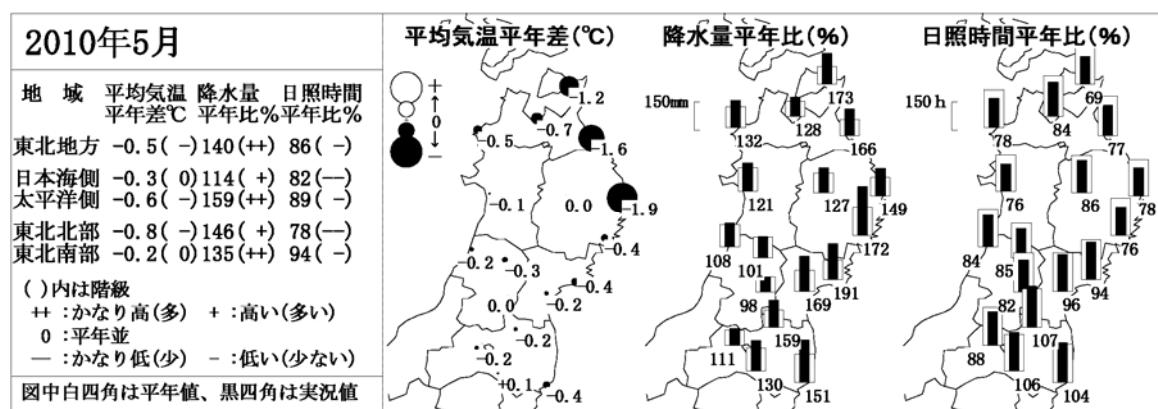
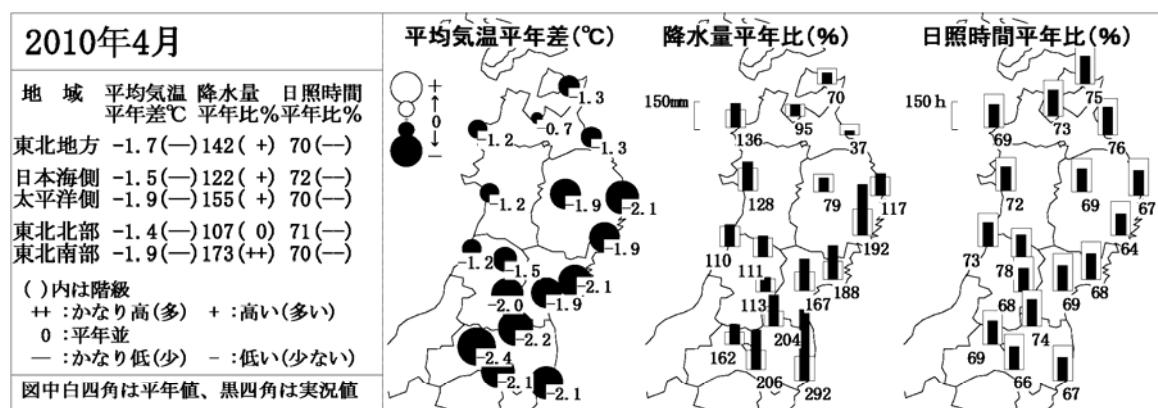
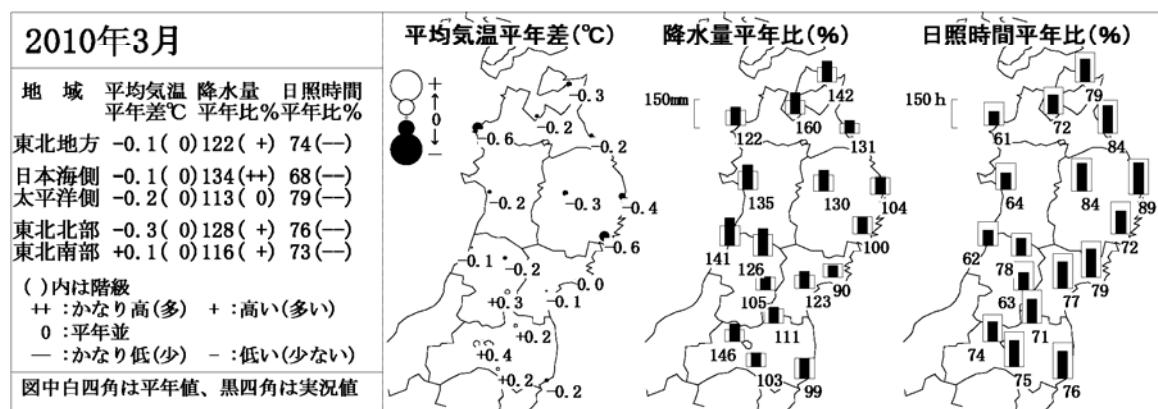
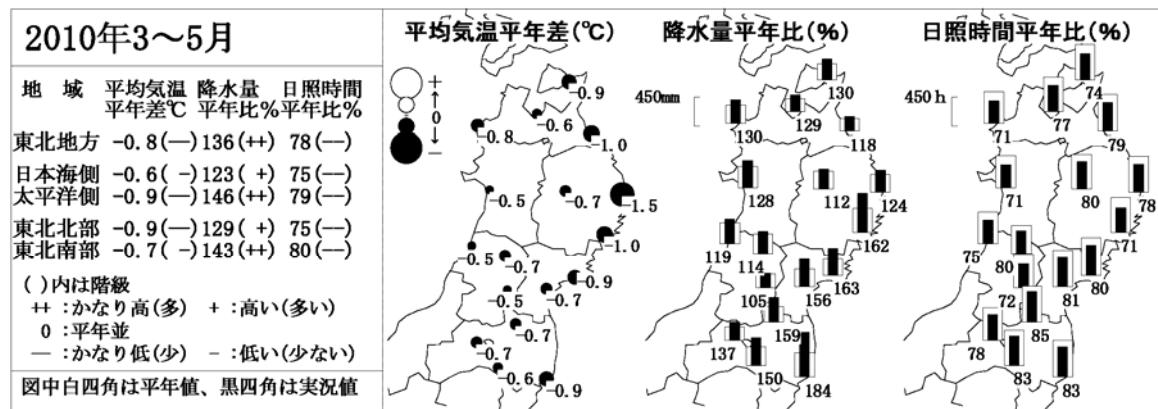
月平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(2) 2010年春(3月～5月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

- 注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
東北北部：青森県、秋田県、岩手県
東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2010年春(3月～5月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	7.1	(-0.6)	-	269.0	(129)	+	40	413.8	(77)	-*
深 浦	7.2	(-0.8)	-*	365.5	(130)	+	43	348.5	(71)	-*
む つ	6.0	(-0.9)	-*	327.0	(130)	+	40	412.4	(74)	-*
八 戸	6.9	(-1.0)	-*	229.5	(118)	+	27	451.9	(79)	-*
<hr/>										
秋 田	8.4	(-0.5)	-	425.5	(128)	+*	51	358.4	(71)	-*
盛 岡	7.3	(-0.7)	-	310.0	(112)	+	40	430.1	(80)	-*
大 船 渡	7.7	(-1.0)	-*	615.0	(162)	+*	32	382.8	(71)	-*
宮 古	6.8	(-1.5)	-*	348.0	(124)	+	28	440.8	(78)	-*
<hr/>										
仙 台	9.1	(-0.7)	-*	435.0	(156)	+*	30	462.9	(81)	-*
石 卷	8.1	(-0.9)	-*	423.5	(163)	+*	32	473.6	(80)	-*
<hr/>										
山 形	8.9	(-0.5)	-	226.0	(105)	○	36	380.6	(72)	-*
新 庄	7.4	(-0.7)	-	358.5	(114)	+	54	360.4	(80)	-*
酒 田	9.1	(-0.5)	-	388.0	(119)	+	52	371.1	(75)	-*
<hr/>										
福 島	10.2	(-0.7)	-	387.0	(159)	+*	34	478.9	(85)	-*
若 松	8.7	(-0.7)	-	284.5	(137)	+*	40	400.7	(78)	-*
白 河	8.8	(-0.6)	-	437.0	(150)	+*	35	459.1	(83)	-*
小 名 浜	9.9	(-0.9)	-	701.0	(184)	+*	35	473.8	(83)	-*

(注) 1. 平年値は 1971~2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

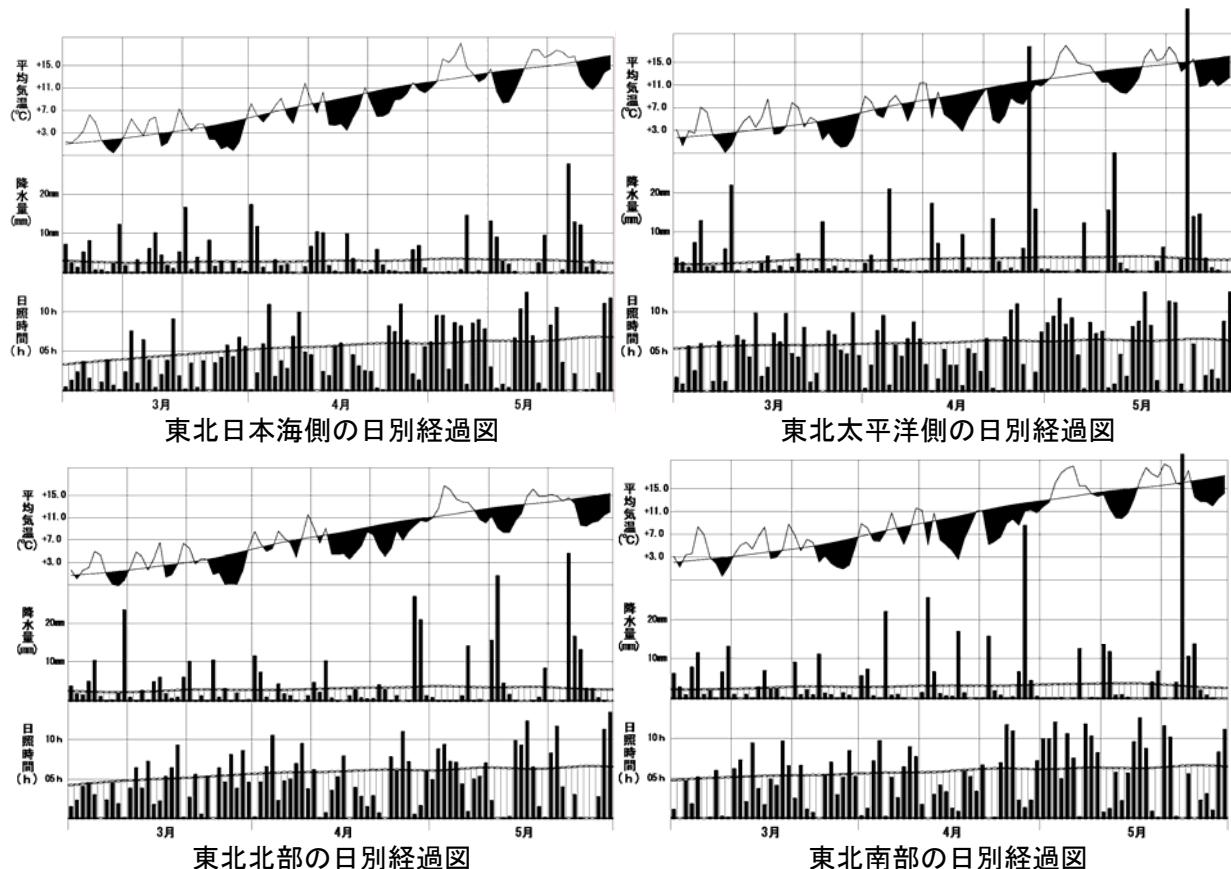
また、値が 1971~2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2010年春(3月～5月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2010年春(3月～5月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	小名浜	701.0	184	649.1 (1920)	1911	381.4
2	仙台	435.0	156	438.0 (1982)	1927	279.0
	白河	437.0	150	483.0 (1992)	1940	291.6
3	大船渡	615.0	162	703.0 (2000)	1964	379.6

3か月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	大船渡	382.8	71	409.6 (1995)	1964	541.0
	若松	400.7	78	413.0 (1992)	1954	513.7
	秋田	358.4	71	379.9 (1938)	1899	502.1
	酒田	371.1	75	395.1 (2007)	1937	497.8
2	新庄	360.4	80	347.2 (2007)	1958	448.2
	深浦	348.5	71	330.7 (1951)	1940	492.1
	むつ	412.4	74	405.7 (2000)	1935	555.8
	八戸	451.9	79	450.7 (1955)	1937	575.6
	盛岡	430.1	80	423.1 (1944)	1924	537.3
	宮古	440.8	78	413.5 (1903)	1902	567.0
	山形	380.6	72	369.9 (1920)	1895	528.6
	石巻	473.6	80	469.1 (1995)	1899	588.8
3	青森	413.8	77	406.5 (2000)	1882	538.3
	小名浜	473.8	83	441.7 (1955)	1911	572.3

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計（多い方から）、月最深積雪（大きい方から）の1位のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

月降水量多い方からの極値更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
4月	白河	207.0	206	187.5 (1990)	1940	100.5
	小名浜	374.0	292	260.1 (1920)	1911	128.3

月間日照時間少ない方からの順位更新

月	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
4月	大船渡	112.8	64	126.5 (2006)	1964	176.0
	若松	121.8	69	124.9 (1998)	1954	175.8
	盛岡	121.6	69	123.6 (1944)	1924	175.1
	宮古	129.3	67	133.4 (2006)	1902	192.3
	仙台	131.1	69	142.2 (1998)	1927	190.9
	白河	120.9	66	122.8 (1998)	1940	184.2
	小名浜	124.9	67	128.9 (1998)	1911	186.1

降雪の深さ月合計値多い方からの極値更新

月	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
4月	酒田	4	2 (1998)	1953	1

月最深積雪大きい方からの極値更新

月	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
3月	八戸	61	10	55 (1984)	1937	17
4月	酒田	3	17	2 (1998)	1938	0

(7) 2010年のさくらの開花・満開

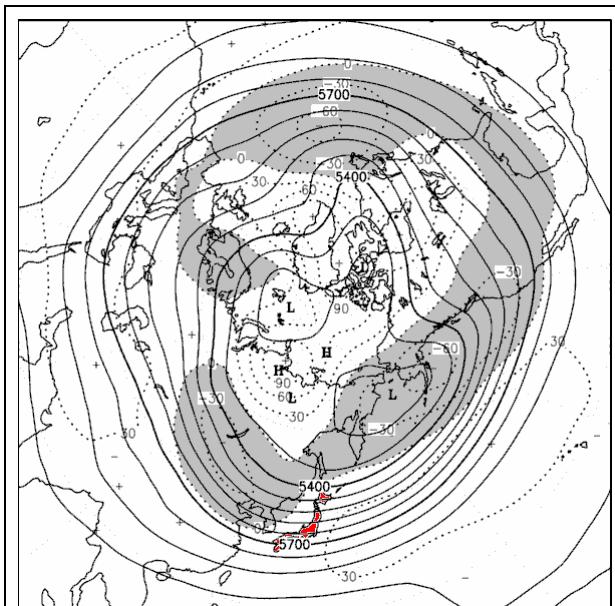
(最早・最晩の統計期間：1953年～2009年：平年値は1971年～2000年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2010)	平年値	昨年 (2009)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2010)	平年値	昨年 (2009)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.28	4.26	4.18	4.14/2002	5.11/1984	5.02	5.01	4.22	4.16/2002	5.18/1984
秋田	4.24	4.19	4.14	4.07/2002	4.30/1984	4.28	4.24	4.19	4.12/2002	5.08/1965
盛岡	4.25	4.23	4.13	4.11/2002	5.06/1984	5.02	4.27	4.18	4.16/2002	5.09/1984
山形	4.19	4.17	4.11	4.03/2002	4.29/1984	4.25	4.21	4.13	4.06/2002	5.04/1984
仙台	4.13	4.12	4.07	3.29/2002	4.28/1984	4.21	4.18	4.10	4.03/2002	5.03/1984
福島	4.09	4.11	4.06	3.29/2002	4.25/1984	4.13	4.15	4.09	4.02/2002	4.28/1984

開花：標本木が5～6輪開花した状態

満開：標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

(8) 北半球の大気の流れ（3月～5月）



3月～5月の平均500hPa高度・平年偏差図

実線は高度(m)、間隔 60m。破線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

3月～5月の平均500hPa高度を見ると、極付近を含む高緯度は正偏差で、中緯度帯に寒気が流れ込みやすい負の北極振動のパターンとなった。日本付近は、日本の北から西で負偏差、日本の南から東で正偏差となり、寒気と暖気の境目となった。このため、寒気の影響を受け低温となった時期と、南からの暖気におおわれて高温となった時期があり、気温の変動が大きく、低気圧や前線が日本付近を頻繁に通過した。